

25日 水曜

ネヘミヤ

12:1 シェアルティエルの子ゼルバベルおよびヨシュアと一緒に上って来た、祭司とレビ人は次のとおりである。セラヤ、エレミヤ、エズラ、

12:2 アマルヤ、マルク、ハトシュ、

12:3 シェカンヤ、レフム、メレモテ、

12:4 イド、ギネトイ、アビヤ、

12:5 ミヤミン、マアデヤ、ビルガ、

12:6 シェマヤ、エホヤリブ、エダヤ、

12:7 サル、アモク、ヒルキヤ、エダヤ。以上はヨシュアの時代に、祭司とその同族のかしらであった者たちである。

12:8 また、レビ人では、ヨシュア、ビヌイ、カデミエル、シェレベヤ、ユダ、マタンヤで、感謝の歌を受け持っていたのはマタンヤとその兄弟たちであった。

12:9 また、彼らの兄弟のバクブクヤとウンニは、務めのときには彼らの向かい側に立った。

12:10 ヨシュアはエホヤキムを生み、エホヤキムはエルヤシブを生み、エルヤシブはエホヤダを生み、

12:11 エホヤダはヨナタンを生み、ヨナタンはヤドアを生んだ。

12:12 次に、エホヤキムの時代に、祭司で一族のかしらであった者は次のとおりである。セラヤ族ではメラヤ、エレミヤ族ではハナンヤ、

12:13 エズラ族ではメシュラム、アマルヤ族ではヨハナン、

12:14 メリク族ではヨナタン、シェバンヤ族ではヨセフ、

12:15 ハリム族ではアデナ、メラヨテ族ではヘルカイ、



12:16 イド族ではゼカリヤ、ギネトン族ではメシュラム、

12:17 アビヤ族ではジクリ、ミンヤミン族、モアデヤ族ではピルタイ、

12:18 ビルガ族ではシャムア、シェマヤ族ではヨナタン、

12:19 エホヤリブ族ではマテナイ、エダヤ族ではウジ、

12:20 サライ族ではカライ、アモク族ではエベル、

12:21 ヒルキヤ族ではハシャブ、エダヤ族ではネタンエル。

ゼルバベルは神殿再建に尽力した人です。彼と一緒にエルサレムで礼拝の奉仕をした人々がここに記されています。さらにはその出生なども記されており、信仰やその働きには親の影響も重要であることが暗示されています。

礼拝の奉仕は何よりも、神様の価値観が重要です。技術ではなく、主のみこころを行いたい、表したいという聖なる思いです。この世の見える部分にや移ろいゆく価値観に左右されては成り立たないのです。私たちもそのような思いで、揺るぎない永遠の価値観で奉仕しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

